

2026

3月8日(日)13:30~15:30

じばさん5階大研修室(四日市市地場産業振興センター)

対象 40名(小学生以下は保護者同伴)

参加無料

クマ出没の背景から『問い』をひらく

— 自然とのこれからを考える



講師 平山 大輔
hirayama daisuke

三重大学 教育学部 教授(理科教育・生物学)

三重県自然環境保全審議会委員 会長

1975年 広島県生まれ

2005年 大阪市立大学大学院後期博士課程修了 博士(理学)

2021年 三重大学教育学部教授



そらんぽ 四日市

四日市公害と環境未来館

〒510-0075 四日市市安島1丁目3-16

【TEL】059-354-8065 【FAX】059-329-5792

【Eメール】 kougai-kankyomiraikan@city.yokkaichi.mie.jp

【開館時間】9時30分~17時【休館日】月曜日(祝休日の場合は原則翌平日)

締め切り 2月25日(水)必着

応募フォーム



講師紹介 平山 大輔（ひらやま だいすけ）

三重大学 教育学部 教授（理科教育・生物学）

平山大輔先生は、森林や植物のしくみを通して人と自然のつながりを探る研究と教育に取り組んでいます。生物学・生態学を専門とし、森の変化や生き物の生存戦略を読み解きながら、自然環境の課題と向き合ってきました。ブナ科カシ類の結実サイクルなど、森に潜む不思議を追究する一方、地域の森林調査にも参加し、樹木の枯死など身近な自然の変化にも目を向けています。

また、子どもから大人まで幅広い世代に自然観察や森林学習の魅力を伝え、身近な自然を入り口に、環境教育やSDGsにつながる視点を育む活動を続けています。地域の環境保全やツキノワグマをめぐる課題についての議論にも関わり、森と人が共に生きる未来へ向けて、自然の声を社会へ届けています。

企画・運営 一般社団法人ネクストステップ研究会

四日市市を中心に、人と環境、暮らしと社会をつなぐ活動を行う市民団体

ごみ削減や里山活用、豊かな海づくりなど、複数のチームが協力しながら地域課題に取り組んでいます。活動の基盤には、持続可能な社会づくりを目指す教育理念「ESD」があり、市民が身近な暮らしの中で学び、気づきを行動へつなげる場づくりを大切にしています。

私たちのスローガンは「つくりつなぐ 小さな循環」
人や自然、地域資源が無理なく関わり合い、次の世代へと続く循環をつくりたい。
「想いを行動に移したい」というあなた、私たちとつながって一緒に活動しましょう！

〈トピック予定〉

○クマ出没の現状と背景

○人と野生動物のすみ分けとは何か

○四日市市の自然環境と市民にできること

○意見交換(付箋ワーク等)&質疑応答

キリトリ

「クマ出没の背景から『問い』をひらく - 自然とのこれからを考える」参加お申し込み

応募フォーム、ハガキ、FAX、E-mail、または館内図書カウンターで、下記申し込み内容をご記入の上お申し込みください。

このチラシをそのまま FAX でお送りいただくか、図書カウンターへ提出いただいても受付いたします。

※お送りいただいた個人情報は、四日市公害と環境未来館の事業以外には使用いたしません。

令和 8 年 月 日

住所	〒		
	電話番号		
参加者のお名前（ふりがな）	年齢 （学生は学校名と学年）	参加者のお名前（ふりがな）	年齢 （学生は学校名と学年）